

運営方針

「人の温もりが感じられるまち」の実現に向け、市民のライフステージに応じた支援に取り組み、誰もが安心して住み続けることができる環境を整備します。

そのために、市民の主体的な健康づくりへの支援と地域での仲間づくりや交流を通じて、生涯にわたって心身ともに健康でいきいきと暮らせる活力のあるまちづくりを進めるとともに、高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、保健・医療・福祉をはじめ、地域や関係機関との連携による支えあいの体制を構築します。

また、市民の安心や生活の安定を支えるセーフティーネットである国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の健全で適正な運営に努めます。

【重点施策とめざす方向】

地域包括ケアシステムの推進と介護保険事業の円滑な実施

高齢者等が、住み慣れた「まち」でいきいきと暮らすことができ、介護や支援が必要となっても、地域全体で支え合うことができる体制の構築及び介護保険制度の持続可能性を確保し、必要な方に必要なサービスが提供される仕組みづくり等に関する計画を策定します。

【実績】

目標どおり達成

元気な高齢者やサービスを必要とする高齢者に対する施策の充実及び地域包括ケアシステムの更なる推進のために第7期高齢者保健福祉計画を策定しました。

がん検診の受診率向上及び健診の精度向上

がんの早期発見により、がん死亡率を減らすことを目的としてがん検診の受診機会の拡大及び検診の精度向上等に取り組みます。

目標どおり達成

がん検診の個別の受診勧奨、受診機関での検診枠の拡大とともに、医療機関との勉強会を実施し検診の精度向上に取り組みました。

地域共生社会の実現及び障がい福祉サービスの提供体制の確保

地域の中で障がいのある人が自立した生活を送るための地域共生社会の実現と適切で効果的な障がい福祉サービスの提供などに関する計画を策定します。

目標どおり達成

障がいの有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現をめざし、基本的な方向性を示す第3次障がい者長期計画を策定しました。

国民健康保険や生活保護などの社会保障制度の適正運営

国保加入者が安心して医療を受けられるように国保の健全運営及び生活保護受給者に対する相談体制の充実等により社会保障制度の適正運営に努めます。

目標どおり達成

特定健診の受診率向上、ジェネリック医薬品の普及向上等による国保の健全運営及び就労支援相談員による生活保護からの自立促進等に取り組みました。